

聞こえの教育相談（御案内）



難聴児の困難さ

一見、聞こえているように思える難聴児でも正常な聴力の子供とは聞こえに差があり、学校生活において学習の理解や友人関係などで様々な課題や悩みを抱えています。また、それによって自己肯定感の低下などの二次的な問題も生じています。また、様々な感染症におけるマスク着用の日々は、話をしている人の声がかもって聞きとりづらかったり、口形が見えにくかったりするため、これまで以上に情報が入りにくく、戸惑いを感じている子供も多くなります。軽度難聴や片耳だけが聞こえにくい難聴児（一側性難聴児）も同様です。そこで、子供たちの聞こえに関する支援について、下記のような御相談をお受けしています。



聞こえについての悩みや不安を一緒に考えます

難聴の子供さんやその保護者への支援

- 園や学校生活、家庭生活、進学などの問題についての相談に対応します。
(学習上の配慮、情報保障、福祉制度についてなど)
- 聞こえに関する専門的な相談に対応します。
(聴力測定、聴き取り検査、補聴器の点検など)
- 関係機関との連携を支援します。
(医療、保健・福祉、教育機関などへの紹介を行います)



先生方への研修協力

- 本校職員が出向いて研修を行います。
(学習上の配慮について、情報保障について、校内支援体制づくりについてなど)
- 情報提供を行います。
(就学・進路情報、教科ごとの配慮事項、教材・教具、書籍紹介など)
- 児童生徒への理解推進授業の支援を行います。
(聞こえの理解、補聴器や人工内耳について、手話についてなど)



電話での相談や、来校していただいたの相談、必要がある場合には、担当者が訪問して相談を受けるなど、いろいろな形で対応をします。まずは、特別支援教育コーディネーターまで電話にてご連絡ください。

◇ 問い合わせ先 ◇

宮崎県立延岡しろやま支援学校（聴覚障がい教育部門）

（支援区域：延岡市、日向市、西都市、西臼杵郡、東臼杵郡、児湯郡）

電話：(0982) 29-3715(代表)

(0982) 29-3713(聴覚障がい教育部門直通)

